

令和4年度  
健康科学部  
入学者選抜要項



青森県立保健大学

Aomori University of Health and Welfare

2022



# 目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	I
I 令和4年度入学者選抜概要	1
◆ 入学定員・募集人員	
◆ 選抜日程	
II 一般選抜	2
一般選抜の実施教科・科目等	3
III 特別選抜	8
1 学校推薦型選抜（一般）	9
2 学校推薦型選抜（地域定着枠〈キャリア形成支援枠〉）	10
3 社会人・学士特別選抜	11
4 令和4年度特別選抜配点	12
IV 編入学	13
V 留意事項等	15
VI 大学までの交通案内	19
〈参考1〉選抜方法とアドミッション・ポリシーの対応表	20
〈参考2〉令和3年度入学者選抜結果	22
◆ 選抜状況	
◆ 入学者の内訳	
◆ 都道府県別志願・合格状況等	



## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学の理念は、「公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育んできた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献する」ことです。ここでいうヒューマンケアとは、ケアの提供者が知識や技術を磨き、さらに、人間とは何かを理解し、健康な人々から病気や障害をもった人々まで、それぞれの人々の心の痛みを感じとる思いやりと温かさを持ち寄り添うことです。

この理念に基づき、本学は、高度の専門職知識と技術を備え、保健、医療及び福祉の連携、協力に向けて、社会の幅広い領域で中核的な役割を果たすことのできる優れた人材を育成し、もって地域の人々の健康及び福祉の向上に寄与することを目的としています。

本学は、健康科学部において、保健、医療及び福祉の専門職として地域社会で活躍できる人材育成を目指しています。このため、健康科学を探究し、互いの専門性を尊重しながら連携、協力を図り、ヒューマンケア実践への意欲の高い、次のような資質を有する学生を求めます。

### ○ 健康科学部アドミッション・ポリシー

「人」や「健康」への深い関心と、生命を尊重する気持ちを持って、ケアする専門職となることへの動機付けを有していること。

また、個性豊かでパイオニアになるための素養としての論理性や独創性を有し、何事にも主体的に取り組む姿勢を持つ学生を求めます。

#### （知識・技能）

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

#### （思考力・判断力・表現力等の能力）

1 物事を論理的に考え、探究することができる。

2 自らの考えや気持ちを表現し、相手に伝えることができる。

#### （主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1 周囲の人と連携・協調し、良好な関係を保つことができる。

2 相手の立場を理解し、多様な考え方を受け入れることができる。

#### （意欲、専門分野への興味・関心）

1 健康科学に対する関心度が高く、自ら進んで学習する意欲がある。

2 目指す学問分野や専門職についての予備的知識をもとに、専門職として地域社会に貢献したいという情熱がある。

## ○ 各学科アドミッション・ポリシー

### 看護学科

看護学科は、人間の生涯にわたる健康生活を支え、援助できる人材を育成します。したがって、様々な境遇や健康段階にある人々を、共感や関心を持って多方面から理解し、地域特性を踏まえた社会的ニーズに対応し、専門職として倫理的に行動することが求められます。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

#### (知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。

#### (思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 人間と健康との関係を論理的に考えることができる。
- 2 自らを表現し、周囲の人に自分の考えを的確に伝えることができる。

#### (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 自ら進んで意欲的に学ぶことができる。
- 2 豊かなコミュニケーション能力を持ち、適切な人間関係を保つことができる。
- 3 多様な人々の生き方や価値観を理解し、相手の気持ちを尊重できる。

#### (意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 専門的知識・実践力・倫理的態度を身につける意欲がある。
- 2 看護に関心を持ち、看護職として地域社会に貢献する意欲がある。

### 理学療法学科

理学療法学は、障害などによって体の動きが低下して日常生活に支障が出ている人や、その恐れがある人が自立した日常生活が送れるように、運動療法などによって基本的な動作能力の回復や維持を支援する専門領域です。したがって、障害を有する人たちに対する理解と共感、科学的探究心、責任感および主体的な問題解決能力が求められます。また、保健、医療及び福祉のシステムの中で、他の専門職の関係者と連携・協働して作業することも求められます。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

#### (知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。
- 2 理学療法学を学ぶために基礎となる科目、特に物理や生物、化学を理解している。

#### (思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 理学療法の科学的探究の基盤となる、論理性を有する。
- 2 自らの発言や行動に責任をもち、周囲の人に自分の考えを的確に伝えることができる。

#### (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 向上心を持って自己研鑽に努め、自ら課題を発見してその解決に向けて努力することができる。
- 2 人々の多様な立場や考えを理解したうえで良好な人間関係を構築し、周囲と協働して作業ができる。

#### (意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 医学や医療に対する関心度が高く、特に理学療法分野で目的意識と情熱を持って地域社会に貢献する意欲がある。

## 社会福祉学科

社会福祉学科は、社会の事象や動向を的確に認識し、生活主体者としての人間の尊厳を深く理解した上で、社会生活上の困難を抱えた人に対する専門的支援ができる人材を養成し、ひいてはヒューマンケアを実践できる人を育成しています。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

### (知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。

### (思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 個人や社会の事象を客観的に把握し、論理的に説明できる基礎的な技能を有し、さらに、これらの技能を高める意欲がある。

### (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 他者の立場を理解し、かつ他者と共感的に関わることができる。
- 2 他の人々と協働するための柔軟性や協調性を育む意欲がある。

### (意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 社会福祉の向上を目指し、目的意識を持って地域社会に貢献する意欲がある。

## 栄養学科

栄養学は保健・医療分野のなかで基盤となる学問です。その学問および実践の専門家である管理栄養士は、食品、調理といった口に入る前のことから、体内での代謝・生理、また人々の食行動に関するさまざまな要因について理解する必要があり、幅広い学問的基礎と深い洞察力、柔軟な応用力が求められます。

このため、次のような資質を有する学生を求めます。

### (知識・技能)

- 1 特定の教科に偏らず、高等学校（中等教育学校を含む。）で学ぶ各教科の基礎的内容を十分に理解している。
- 2 栄養学の専門分野を主体的に学ぶための基礎となる科目、特に生物や化学を理解している。

### (思考力・判断力・表現力等の能力)

- 1 人間の健康と栄養との関係を論理的に考え、的確に伝えることができる。
- 2 栄養学を通して生命と健康にかかわる真理を追求することに情熱がある。

### (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- 1 豊かなコミュニケーション能力と“Think globally, act locally”の感覚を持っている。

### (意欲、専門分野への興味・関心)

- 1 健康の維持・増進、疾病の予防・回復・再発防止を目指して、食を通じた人々への支援に取り組みたいという目的意識を持って地域社会に貢献する意欲がある。
- 2 地域における農林水産食品の加工・調理や機能性にかかわる研究開発にチャレンジする意欲がある。
- 3 ヒューマンケアを実践したいという夢と情熱を持っている。

# I 令和4年度入学者選抜概要

## ◆ 入学定員・募集人員

学 部 ・ 学 科 名	入 学 員	募 集 人 員						
		一 般 選 抜		特 別 選 抜				
		前 期 日 程	後 期 日 程	学 校 推 薦 型 選 抜			社 会 人 ・ 学 士	
				一 般		地 域 定 着 枠 ( 県 内 者 )		
県 内 者	県 外 者							
健 康 科 学 部	看護学科	105名	47名	8名	36名	7名	5名	2名
	理学療法学科	31名	15名	3名	9名	3名	—	1名
	社会福祉学科	50名	25名	6名	15名	3名	—	1名
	栄養学科	30名	19名	3名	6名	2名	—	—
計	216名	106名	20名	66名	15名	5名	4名	
		216名						

※特別選抜において入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員数を前期日程に含めて選抜します。

## ◆ 選抜日程

選 抜 区 分	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続	
特 別 選 抜	社会人・学士	令和3年 8月23日(月)～ 8月27日(金)	令和3年9月25日(土)	令和3年 10月1日(金)	令和3年 10月1日(金)～ 10月13日(水)
	学校推薦型選抜	令和3年 11月1日(月)～ 11月8日(月)	令和3年11月27日(土)・28日(日)	令和3年 12月8日(水)	令和3年 12月8日(水)～ 12月20日(月)
一 般 選 抜	前 期 日 程	令和4年 1月24日(月)～ 2月2日(水)	令和4年2月25日(金)	令和4年 3月7日(月)	令和4年 3月7日(月)～ 3月15日(火)
	後 期 日 程		令和4年3月12日(土)	令和4年 3月23日(水)	令和4年 3月23日(水)～ 3月27日(日)

※令和4年度入学者選抜大学入学共通テスト 令和4年1月15日(土)、16日(日)



## Ⅱ 一般選抜

一般選抜は、分離分割方式により前期日程、後期日程に分けて募集します。

### ○ 出願資格

一般選抜に出願する者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和4年度大学入学共通テストで本学の指定する教科、科目をすべて受験していることを要します。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### ○ 出願上の注意

- (1) 同一日程グループ内に属する2つの大学・学部に出願することはできません。
- (2) 本学の前期日程の各学科と後期日程の各学科との学内併願を認めます。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）に合格し、入学手続きを行った者は、本学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (4) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）の総合型選抜・学校推薦型選抜の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、本学を受験しても合格者にはなりません。（許可を得ずに入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (5) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）の前期日程試験に合格し、入学手続きを行った者は、本学の後期日程試験を受験してもその合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）

### ○ 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績並びに調査書の内容を総合して行います。

新型コロナウイルス感染症の今後の流行状況によっては、上記の選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。学生募集要項（10月下旬発行予定）を確認してください。

### ○ 試験会場

入学者選抜試験は、前・後期日程とも青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

## 令和4年度青森県立保健大学

学部・学科・選抜区分			大学入学共通テスト		
			教科	科目名等	科目選択方法等
健 康 科	看護学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
			地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 } から1科目 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	【1科目選択】 ※左記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。
			数学	「数学I・数学A」	【必須】
		理科	「物理」「化学」「生物」から2科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	【「基礎を付していない科目」から2科目選択または「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合は、当該選択2科目の合計得点をそのまま合否判定に用いる。 また、「基礎を付した科目」から2科目を選択した場合は、理科以外の4科目の合計得点に当該選択2科目の合計得点を加えた600点満点を700点満点に換算し、合否判定に用いる。	
		外国語	「英語（リーディング及びリスニング）」	【必須】 ※リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
		後期日程	国語	「国語」	【必須】
	数学		「数学I・数学A」	【必須】	
	理科		「物理」「化学」「生物」から1科目 または 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	【「基礎を付していない科目」から1科目選択または「基礎を付した科目」から2科目選択】 ※「基礎を付していない科目」から1科目および「基礎を付した科目」から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。 ※左記「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。	
	理学療法学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
			数学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	【2科目必須】
			理科	「物理」「化学」「生物」から2科目	【2科目選択】
		外国語	「英語（リーディング及びリスニング）」	【必須】 ※リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
後期日程		国語	「国語」	【必須】	
		数学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	【2科目必須】	
	理科	「物理」「化学」「生物」から2科目	【2科目選択】		
外国語	外国語	「英語（リーディング及びリスニング）」	【必須】 ※リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。		

# 一般選抜の実施教科・科目等

個別学力検査等			配点等										
教科名	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計	
その他	小論文 面接	—	大学入学 共通テスト	100	100		100	200 注1 100	注2 200				700
			個別学力検査							100	100	200	
			計	100	100		100	200	200	100	100	900	
その他	面接	—	大学入学 共通テスト	100			100	100	注3 100			400	
			個別学力検査							注4 200	200		
			計	100			100	100	100	200	600		
その他	小論文 面接	—	大学入学 共通テスト	200			200	200	注2 200			800	
			個別学力検査							150	50	200	
			計	200			200	200	200	150	50	1000	
その他	面接	—	大学入学 共通テスト	200			200	200	注2 200			800	
			個別学力検査							注4 200	200		
			計	200			200	200	200	200	1000		

【配点等】欄

注1 上段は「基礎を付していない科目」を選択した場合における配点を、また下段は「基礎を付した科目」を選択した場合における配点を指す。

注2 リーディングは100点満点を160点満点に換算、リスニングは100点満点を40点満点に換算し、合計200点満点とする。

注3 リーディングは100点満点を80点満点に換算、リスニングは100点満点を20点満点に換算し、合計100点満点とする。

注4 「面接」内容は、集団討論および個別面接とする。集団討論は、まとめ文（討論の内容を要約し、討論を通して感じたことや考えをまとめるもの）作成を含む。

学部・学科・選抜区分			大学入学共通テスト		
			教科	科目名等	科目選択方法等
健 康 科 学 部	社会福祉学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
			地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	【2科目選択】
			数学	「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」 から1科目	【1科目選択】 ※左記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。
		外国語	「英語（リーディング及びリスニング）」	【必須】 ※リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
		後期日程	国語	「国語」	【必須】
			地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目	【1科目選択】 ※左記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。
	数学		「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」 から1科目	【1科目選択】 ※左記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。	
	栄養学科	前期日程	国語	「国語」	【必須】
			数学	「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」	【2科目必須】
			理科	「物理」「化学」「生物」から2科目	【2科目選択】
		外国語	「英語（リーディング及びリスニング）」	【必須】 ※リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。	
		後期日程	数学	「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」	【2科目必須】
理科			「化学」「生物」から1科目	【1科目選択】 ※左記から2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に用いる。	
外国語	「英語（リーディング及びリスニング）」		【必須】 ※リーディング又はリスニングのいずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格を有しない。		

個別学力検査等			配点等										
教科名	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計	
その他	小論文 面接	—	大学入学 共通テスト	100	100	100	100		注2 200			600	
			個別学力検査								250	50	300
			計	100	100	100	100		200	250	50	900	
その他	面接	—	大学入学 共通テスト	100	100		100		注3 100			400	
			個別学力検査								注4 200	200	
			計	100	100		100		100		200	600	
その他	小論文 面接	—	大学入学 共通テスト	200			200	200	注2 200			800	
			個別学力検査								150	50	200
			計	200			200	200	200	150	50	1000	
その他	面接	—	大学入学 共通テスト				200	200	注2 200			600	
			個別学力検査								注4 200	200	
			計				200	200	200		200	800	

【配点等】欄

注2 リーディングは100点満点を160点満점에換算、リスニングは100点満点を40点満점에換算し、合計200点満点とする。

注3 リーディングは100点満点を80点満점에換算、リスニングは100点満点を20点満점에換算し、合計100点満点とする。

注4 「面接」内容は、集団討論および個別面接とする。集団討論は、まとめ文（討論の内容を要約し、討論を通して感じたことや考えをまとめるもの）作成を含む。

○令和4年度一般選抜における大学入学共通テスト「理科」の受験を要する教科・科目および大学入学共通テスト出願時における科目選択方法について

学科名	一般選抜日程	本学が指定する大学入学共通テスト「理科」の利用教科・科目	大学入学共通テスト「理科」の科目選択方法(※)	備考
看護学科	前期	理科 「物理」「化学」「生物」から2科目、 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	A：理科①から2科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目	地学基礎、 地学を除く
	後期	理科 「物理」「化学」「生物」から1科目、 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	A：理科①から2科目 B：理科②から1科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目 ※Cの場合、「理科①2科目」「理科②」のうち、得点の高い科目を合否判定に用いる ※Dの場合、理科②のうち得点の高い科目を合否判定に用いる	地学基礎、 地学を除く
理学療法学科	前期・後期	理科 「物理」「化学」「生物」から2科目	D：理科②から2科目	地学を除く
栄養学科	前期	理科 「物理」「化学」「生物」から2科目	D：理科②から2科目	地学を除く
	後期	理科 「化学」「生物」から1科目	B：理科②から1科目 C：理科①から2科目及び理科②から1科目 D：理科②から2科目 ※Dの場合、理科②のうち得点の高い科目を合否判定に用いる	物理、地学を除く

上記以外の科目および配点等については、3～6ページでご確認ください。

- ※【理科①】…物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎  
 【理科②】…物理、化学、生物、地学

### Ⅲ 特別選抜

#### ○ 特別選抜の種類

各学科において、次のとおり特別選抜を実施します。

選 抜 区 分	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科	栄 養 学 科	特別選抜方法 参照ページ
学校推薦型選抜	○	○	○	○	P 9
社会人・学士特別選抜	○	○	○		P 11

#### ○ 出願資格

特別選抜に出願できる者は、選抜区分により異なりますので、次ページ以降の選抜方法を参照してください。なお、学校推薦型選抜の出願は、高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者に限ります。

#### ○ 出願上の注意

- (1) 特別選抜は、全て大学入学共通テストの受験を要しません。
- (2) 出願書類等が事実と異なる場合及び出願資格の要件を満たさないことが判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (3) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）に合格し、入学手続きを行った者は、本学を受験しても合格者にはなりません。（重複して入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）
- (4) 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。）の学校推薦型選抜の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、本学を受験しても合格者にはなりません。（許可を得ずに入学手続きを行った事実が判明した場合は、本学の入学許可を取り消します。）

#### ○ 入学者選抜方法

選抜区分により異なりますので、次ページ以降の選抜方法を参照してください。

#### ○ 試験会場

特別選抜試験は、全て青森県立保健大学（青森市浜館字間瀬58-1）を試験会場として実施します。

# Ⅲ－１

## 令和４年度特別選抜方法 学校推薦型選抜（一般）

青森県立保健大学

実施学部 ・学科名	健康科学部			
	看護学科	理学療法学科	社会福祉学科	栄養学科
募集人員	43名（うち県外者7名）	12名（うち県外者3名）	18名（うち県外者3名）	8名（うち県外者2名）
出願資格	<p>青森県内の高等学校を令和４年３月に卒業見込みの者、若しくは青森県外の高等学校又は中等教育学校を令和４年３月に卒業見込みの者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の１年前（令和２年11月8日）から引き続き青森県内に住所を有する者（以下、「県内者」という。）の中から上記の人数を募集する。</p> <p>ただし、看護学科は7名、理学療法学科は3名、社会福祉学科は3名、栄養学科は2名を青森県外の高等学校を令和４年３月に卒業見込みで県内者を除いた者（以下において「県外者」という。）から募集する。</p> <p>次の各号のいずれにも該当し、高等学校長（中等教育学校を含む。以下同じ。）が責任を持って推薦できる者とする。</p> <p>(1) 高等学校を令和４年３月卒業見込みの者〔学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、又は学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む〕</p> <p>(2) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者</p> <p>(3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者</p>			
推薦人数	各校からの推薦人数は制限を設けない。			
選抜方法等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>新型コロナウイルス感染症の今後の流行状況によっては、下記の選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。学生募集要項（9月下旬発行予定）を確認してください。</p> </div> <p>以下の内容を総合して行う。</p> <p>① 小論文  注）看護学科：課題文は英文で出題する。  理学療法学科：課題文は英文で出題する場合がある。  また、簡単な計算を必要とする問題を出題する場合がある。  社会福祉学科：課題文は日本語で出題する。  栄養学科：基礎的な英語力や理科的思考力を問う問題を出題する場合がある。</p> <p>② 志望理由書  ③ 高校での学びを振り返る作文  高校での学びや体験を通し、学力の3要素のうち「主体性・多様性・協働性」について学んだ内容を振り返るための作文を課す。テーマは試験当日に示す。作文の内容は面接で問われることがある。</p> <p>④ 面接  ⑤ 調査書</p>			
出願期間	令和３年11月1日（月）～令和３年11月8日（月）			
選抜期日	令和３年11月27日（土）・28日（日）			
合格発表日	令和３年12月8日（水）			
備考				



### Ⅲ－２

#### 令和４年度特別選抜方法 学校推薦型選抜（地域定着枠(キャリア形成支援枠)）

青森県立保健大学

実施学部・学科名	健康科学部 看護学
募集人員	5名 青森県内の高等学校を令和４年３月に卒業見込みの者で、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の１年前（令和２年１１月８日）から引き続き青森県内に住所を有する者の中から上記の人数を募集する。
出願資格	次の各号のいずれにも該当し、高等学校長が責任をもって推薦できる者とする。 (1) 高等学校を令和４年３月卒業見込みの者〔学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第３項の規定により、学年の途中において、又は学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む〕 (2) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者
推薦人数	各校からの推薦人数は制限を設けない。
選抜方法等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>新型コロナウイルス感染症の今後の流行状況によっては、下記の選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。学生募集要項（９月下旬発行予定）を確認してください。</p> </div> <p>以下の内容を総合して行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 小論文 課題文は英文で出題する。</li> <li>② 志望理由書</li> <li>③ 高校での学びを振り返る作文 高校での学びや体験を通し、学力の３要素のうち「主体性・多様性・協働性」について学んだ内容を振り返るための作文を課す。テーマは試験当日に示す。作文の内容は面接で問われることがある。</li> <li>④ 面接 「居住している市町村はどんなところか」をテーマに５分間のプレゼンテーションをした後に、面接を行う。</li> <li>⑤ 調査書</li> </ol>
出願期間	令和３年11月1日（月）～令和３年11月8日（月）
選抜期日	令和３年11月27日（土）・28日（日）
合格発表日	令和３年12月8日（水）
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校推薦型選抜（一般）との併願は不可とする。</li> <li>2 地域定着枠で不合格となった者は、学校推薦型選抜（一般（県内者））に組入れて合否判定する。</li> <li>3 本学看護学科では、青森県内で活躍する看護師等医療従事者の育成を大きな使命の一つとしており、看護学への学習意欲が高く、将来、青森県内で看護職者として従事しようとする強い意思を持つ学生の入学を期待している。</li> <li>4 ※「キャリアサポートプログラム」は、卒業後、一定期間、青森県内に就業することとし、在学中から就業後も、学生の就職・就業の支援を大学と地域の医療機関等が連携してサポートするものであり、急性期の病院（中核病院、その他の急性期病院）を拠点に、回復期の中小病院、慢性期・在宅医療の診療所等をローテーション勤務することによって、地域で活躍する看護職者としての総合力修得とキャリア形成を目指すプログラムである。なお、「一定期間」とは、地域で活躍する看護職者としての総合力修得とキャリア形成に要する期間であり、概ね５年間～９年間を目安とするが、具体的な期間については、大学と地域の急性期病院及び学生本人が協議・調整して決定する。</li> <li>5 「地域定着枠（キャリア形成支援枠）」の詳細は、本学ホームページを御覧ください。</li> </ol>

### Ⅲ－3

#### 令和4年度特別選抜方法 社会人・学士

青森県立保健大学

実施学部・学科名	健 康 科 学 部		
	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	社 会 福 祉 学 科
募 集 人 員	2 名	1 名	1 名
出 願 資 格	<p>次の各号のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 令和4年3月31日までに満21歳に達し、社会人経験を3年以上有する者で、次のいずれかに該当する者。          なお、社会人経験には家事従事期間を含むが、夜間、定時制、通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校等昼間課程）に在籍していた期間は含めない。          ① 高等学校を卒業した者          ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者          ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>(2) 大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに学士の学位を授与される見込みの者</p>		
選 抜 方 法 等	<p>総合問題（高等学校で得た基礎学力に基づき、英文読解力、論理的思考能力、表現力、自然科学の知識等を総合的に評価する出題を行う）及び面接の結果を総合的に判定して行う。</p>		
出 願 期 間	令和3年8月23日（月）～令和3年8月27日（金）		
選 抜 期 日	令和3年9月25日（土）		
合 格 発 表 日	令和3年10月1日（金）		
備 考	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>新型コロナウイルス感染症の今後の流行状況によっては、下記の選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。学生募集要項（7月中旬発行予定）を確認してください。</p> </div> <p>(1) 判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者を募集人員よりも減ずることがあります。</p> <p>(2) 個人面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合があります。</p>		

### Ⅲ－４

#### 令和４年度特別選抜配点

青森県立保健大学

#### ○学校推薦型選抜（一般）

学 科	小論文	作 文	面 接	総合点
看護学科	100	50	50	200
理学療法学科	100	50	50	200
社会福祉学科	100	50	50	200
栄養学科	100	50	50	200

#### ○学校推薦型選抜（地域定着枠〈キャリア形成支援枠〉）

学 科	小論文	作 文	プレゼン テーション	面 接	総合点
看護学科	100	50	50※	50	250

※プレゼンテーションの内容の他に、地域への理解・地域貢献への意欲等も含む。

注）地域定着枠で不合格となった場合は、プレゼンテーションの得点を除いた総合得点を学校推薦型選抜（一般（県内者））の合否判定に使用する。

#### ○社会人・学士選抜

学 科	総合問題	面 接	総合点
看護学科	100	100	200
理学療法学科	100	100	200
社会福祉学科	100	100	200

## IV 編入学

### ○編入年次及び在学すべき年数

編入時期は令和4年4月とし、編入年次及び在学すべき年数は次のとおりです。

学 科	編 入 年 次	在学すべき年数
社会福祉学科	2年次	3年
栄 養 学 科	2年次	3年

注) 看護学科・理学療法学科は、令和2年4月から学生募集を停止しました。

### ○出願資格

編入学に出願できる者は短期大学卒業者、専修学校卒業者等です。(詳細はP14参照)

### ○出願上の注意

出願書類等が事実と異なる場合及び出願資格の要件を満たさないことが判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。

### ○入学者選抜方法

新型コロナウイルス感染症の今後の流行状況によっては、下記の選抜方法とは異なる方法で選抜を実施することがあります。学生募集要項(7月中旬発行予定)を確認してください。

本学が実施する個別学力検査(総合問題(\*)、面接)等の成績、志望理由書、成績証明書等の内容を総合して行います。

なお、判定の結果、基準に満たないと認められる場合には、合格者を募集人員よりも減ずることがあります。

また、個人面接の得点が基準に満たない場合は、不合格とする場合があります。

(\*) 社会福祉学科：短期大学・高等専門学校での学習を含めた基礎学力に基づき、論理的思考能力、表現力、英文読解力を総合的に評価する。

栄 養 学 科：生物、化学の知識、理解力を基礎として、短期大学・高等専門学校等での学習を含めた基礎学力に基づき、英語、国語の読解力、論理的思考能力、表現力等を総合的に評価する。

### ○試験会場

編入学試験は、青森県立保健大学(青森市浜館字間瀬58-1)を試験会場として実施します。

## 令和4年度編入学選抜方法

青森県立保健大学

実施学部 ・学科名	健 康 科 学 部														
	社会福祉学科		栄養学科												
募集人員	4名		3名												
出願資格	<p>志望学科ごとに次の要件に該当する者</p> <p>(1) 社会福祉学科</p> <p>① 短期大学又は高等専門学校を卒業した者、又は令和4年3月に卒業見込みの者</p> <p>② 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上のものに限る。）を修了した者、又は令和4年3月に修了見込みの者</p> <p>③ 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者、又は令和4年3月にこれに該当する見込みのある者</p> <p>注）社会福祉学科の出願資格については、在学していた学部・学科・専攻は問わない。</p> <p>(2) 栄養学科</p> <p>① 学士の学位を有する者、又は令和4年3月までに学士の学位を授与される見込みの者</p> <p>② 短期大学・高等専門学校を卒業した者、又は令和4年3月に卒業見込みの者</p> <p>注）栄養学科の出願資格については、在学していた学部・学科・専攻は問わない。</p>														
選 抜 方 法	個別学力検査（総合問題、面接）等の成績、成績証明書、編入学志望理由書の内容を総合して行う。														
出 願 期 間	令和3年8月23日（月）～令和3年8月27日（金）														
選 抜 期 日	令和3年9月25日（土）														
合 格 発 表 日	令和3年10月1日（金）														
配 点	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学 科</th> <th style="width: 25%;">総 合 問 題</th> <th style="width: 25%;">面 接</th> <th style="width: 25%;">総 合 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>			学 科	総 合 問 題	面 接	総 合 点	社会福祉科	100	100	200	栄養学科	100	100	200
学 科	総 合 問 題	面 接	総 合 点												
社会福祉科	100	100	200												
栄養学科	100	100	200												
備 考															

## V 留意事項等

### ○ 身体に障害等を有する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で身体に障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）を有する者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、出願の前に青森県立保健大学教務学生課まで連絡し、相談してください。

なお、詳細については後日発表する学生募集要項を参照してください。

### ○ 学校教育法施行規則第150条第7号の規定に基づく大学入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号に基づく大学入学審査申請期間は次のとおりとします。

選抜方法	大学入学資格審査申請期間	審査結果通知時期
特別選抜 (社会人・学士)	令和3年7月23日(金)～7月30日(金)	令和3年8月11日(水) 頃
学校推薦型選抜 及び一般選抜	令和3年8月16日(月)～8月20日(金)	令和3年9月17日(金) 頃

### ○ 初年度納付金

- ・入 学 料 県内者225,600円、県内者以外の者338,400円
- ・授 業 料 年額535,800円（4月末、10月末に半額ずつ納付）
- ・学外実習負担金

看護学科	14,000円	社会福祉学科	5,000円
理学療法学科	15,000円	栄養学科	5,000円

（実習に伴う交通費、ユニフォーム代、宿泊費等の費用は、別途必要です。）

上記は令和4年度の予定額であり、変更する場合があります。変更後の金額は学生募集要項でお知らせします。

また、年度の途中で授業料等の改訂があった場合は、改訂後の額が適用となります。

このほか、後援会費（4年分50,000円）、同窓会費（終身会費10,000円）、傷害・賠償保険料等を徴収しています。

### ○ 個人情報の取り扱い

#### (1) 利用目的

志願者から提出いただいた個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ① 入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ② 入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③ その他、教育・研究に関すること。

## (2) 第三者への提供

上記(1)の各業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者において行うことがあり、その場合、当該業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

## (3) 国公立大学間の情報提供


国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

## ○ 学生募集要項の請求時期及び方法

入学者選抜に関する細目を記載した学生募集要項及び出願に必要な書類等は、下記に示した時期に発表・交付する予定です。

種 別	交 付 時 期
社会人・学士特別選抜、編入学	令和3年7月中旬
学校推薦型選抜	令和3年9月下旬
一 般 選 抜	令和3年10月下旬


### (1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、青森県立保健大学ホームページ（<https://www.auhw.ac.jp/>）をご覧ください。

### (2) インターネットまたは自動音声応答電話で請求する場合

① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合	<a href="https://telemail.jp/">https://telemail.jp/</a> 資料請求番号の入力は不要です。 
自動音声応答電話の場合	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)	資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)
大学案内	560522	1 8 0 円	一般選抜学生募集要項	580502	2 1 5 円※
入学者選抜要項+大学案内	560502	2 1 5 円	一般選抜学生募集要項	540502	2 5 0 円※
学校推薦型選抜学生募集要項	580512	1 8 0 円※	+ 大学案内		
特別選抜 (社会人・学士) ・編入学生募集要項	580542	2 1 5 円			

③あとはガイダンスに従って登録してください。

#### (1)(2)に関する注意事項

- 資料は通常、発送日のおおむね3～5日後にお届けできます（日曜・祝日の配達はありません）。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに1週間ほど要する場合があります。
- 17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一齐に発送します。
- 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- 随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- 料金の支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay、PayPay、au Pay）」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリ請求書払いは88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）もご利用になれます（別途手数料が必要です）。
- 料金の後ろに※印のある資料については、追加料金200円で「1～2日後に届く発送サービス」をご利用になれます（予約受付期間中および自動音声応答電話による請求を除く）。本サービスをご利用の場合は、発送日のおおむね1～2日後にお届けできます。ただし、お届け先地域や郵便事情によっては3日以上かかる場合があります。
- 一般選抜募集要項の通常受付期間は、2022年1月27日正午までです。ただし、1月27日正午以降も引き続きインターネットでは「テレメール速達対応」による請求受付を行います（いずれも料金は上記と異なります）。なお、発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。【テレメール速達対応】レターパックプラスによる発送で、一部の地域を除き翌日・翌々日にお届けできます（ポスト投函でなく手渡し）。  
受付期間：2022年1月30日（日）正午まで  
料金（送料・手数料含む）：一般選抜募集要項600円、一般選抜募集要項・大学案内650円

(1)(2)の請求方法についてのお問い合わせは  
**テレメールカスタマーセンター**  
**IP電話050-8601-0102（9：30～18：00）まで**



### (3) 本学へ直接請求する場合

#### <請求方法>

- ① 郵送による送付を希望する場合は、郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分（一般選抜学生募集要項を1部請求の場合）の切手を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封のうえ、下記請求先へ請求してください。

なお、封筒の表には、「〇〇選抜学生募集要項請求」と朱書きするとともに、裏面には住所・氏名・電話番号を記載してください（複数の要項を請求する場合には返信用の切手の額が変わりますので、先に電話でご確認ください。）。

- ② 宅配便による送付を希望する場合（複数請求される場合など）は、はがき又はFAXにより郵便番号・住所・氏名・電話番号・必要な要項の種類・請求部数・宅配便による着払いを希望する旨を記載のうえ請求してください。着払いにて送付いたします。

#### <学生募集要項請求先>

青森県立保健大学 教務学生課 入試担当

〒030-8505 青森市浜館字間瀬58-1

電 話 017-765-2061（直通）

F A X 017-765-2188

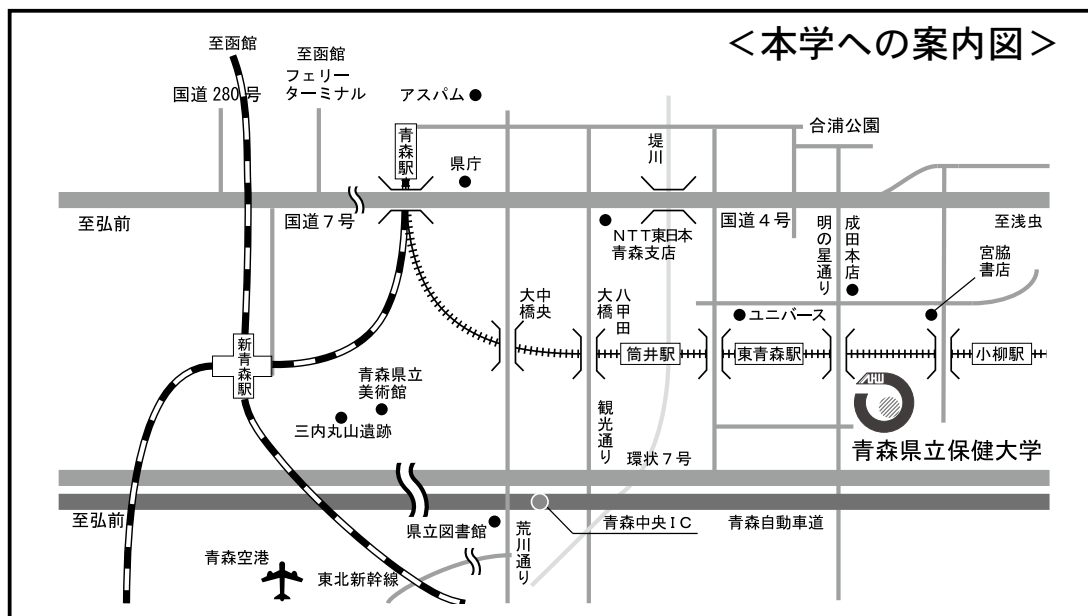
## VI 大学までの交通案内

### 青森市まで

- J R / 東京駅～新青森駅まで約3時間（東北新幹線「はやぶさ」「はやて」）  
函館駅～新青森駅まで約1時間半（北海道新幹線「はやぶさ」「はやて」）
- 飛行機 / 札幌便（約45分）、東京便（約75分）、名古屋便（約80分）、大阪便（約90分）

### 大学まで

- 青森駅から約7km、新青森駅から約11km
- 鉄道  
新青森駅から青森駅を経由し（奥羽本線）、青い森鉄道八戸方面行きで東青森駅または小柳駅で下車。  
いずれも大学まで徒歩約10分（約1km）。
- バス（青森市営バス）  
新青森駅南口から東部営業所方面行きで青森駅前バス停で下車（約15分）。  
青森駅前バス停から戸山団地・沢山線（明の星高校経由に限る）で県立保健大学前バス停まで（約20分）。
- 車 / タクシー  
青森駅から約20分、新青森駅から約25分  
青森自動車道（青森中央 I C）から約15分  
青森空港から約30分



### ○ 問い合わせ先

青森県立保健大学 教務学生課 入試担当  
〒030-8505 青森市浜館字間瀬58-1  
電話 017-765-2061（直通）  
FAX 017-765-2188

# 〈参考1〉 選抜方法とアドミッション・ポリシーの対応表

## ○ 評価の視点

保健、医療及び福祉の専門職として活躍できる専門性を育み、互いの専門性を尊重しながら連携、協調を図り、ヒューマンケアを実践統合できる人材育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、社会人・学士選抜等の様々な入試方法を採用しています。各入試における評価視点は以下のとおりです。

○看護学科

(○=該当する項目、◎=該当するもののうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心	
特別選抜 (社会人・学士)	総合問題	◎	○			
	志望理由書				○	
	成績証明書	○				
	面接		○	○	◎	
学校推薦型選抜	一般	志望理由書			○	
		小論文	○	◎	○	
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	地域定着枠	志望理由書				○
		小論文	○	◎		
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		プレゼンテーション調査書	○	○	○	◎ (※)
一般選抜	前期	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎	○	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
		調査書	○		○	

(※) 地域への理解・愛着も含む。

○理学療法学科

(○=該当する項目、◎=該当するもののうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への興味・関心	
特別選抜 (社会人・学士)	総合問題	◎	○			
	志望理由書				○	
	成績証明書	○				
	面接		○	○	◎	
学校推薦型選抜	一般	志望理由書			○	
		小論文	○	◎	○	
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
一般選抜	前期	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎	○	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
		調査書	○		○	

○社会福祉学科

(○=該当する項目、◎=該当するものうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力 ・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への 興味・関心	
特別選抜 (社会人・学士)	総合問題	◎	○			
	志望理由書				○	
	成績証明書	○				
	面接		○	○	◎	
学校推薦型選抜	一般	志望理由書			○	
		小論文	○	◎	○	
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
一般選抜	前期	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎	○	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
		調査書	○		○	

入試区分	選抜方法	評価視点			
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力 ・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への 興味・関心
編入学	総合問題	◎	○		
	志望理由書				○
	成績証明書	○			
	面接		○	○	◎

○栄養学科

(○=該当する項目、◎=該当するものうち特に重視する項目)

入試区分	選抜方法	評価視点				
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力 ・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への 興味・関心	
学校推薦型選抜	一般	志望理由書			○	
		小論文	○	◎	○	
		作文		○	◎	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
一般選抜	前期	大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎	○	
		面接		○	○	◎
		調査書	○		○	
	後期	大学入学共通テスト	◎	○		
		集団討論		○	◎	○
		まとめ文		○		
		個別面接		○	○	◎
		調査書	○		○	

入試区分	選抜方法	評価視点			
		1) 知識・技能	2) 思考力・判断力 ・表現力等の能力	3) 主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度	4) 意欲、専門分野への 興味・関心
編入学	総合問題	◎	○		○
	志望理由書				○
	成績証明書	○			
	面接		○	○	◎

## 〈参考2〉令和3年度入学者選抜結果

### ◆ 選抜状況

【看護学科】

健康科学部 単位：名

選 抜 区 分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加 合格者数	入学者数	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	36	61	61	37	0	37
		県 外 者	7	18	18	7	0	7
	地 域 定 着 枠	県 内 者	5	27	27	6	0	6
	社 会 人 ・ 学 士		2	3	3	2	0	2
一般選抜	前 期 日 程	47	162	140	58	0	53	
	後 期 日 程	8	174	45	9	0	9	
計		105	445	294	119	0	114	

【理学療法学科】

選 抜 区 分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加 合格者数	入学者数	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	9	28	28	10	0	10
		県 外 者	3	13	13	4	0	4
	社 会 人 ・ 学 士	1	0	0	0	0	0	
一般選抜	前 期 日 程	15	51	50	17	0	17	
	後 期 日 程	3	58	24	3	0	3	
計		31	150	115	34	0	34	

【社会福祉学科】

選 抜 区 分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加 合格者数	入学者数	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	15	34	34	19	0	19
		県 外 者	3	10	10	3	0	3
	社 会 人 ・ 学 士	1	0	0	0	0	0	
一般選抜	前 期 日 程	25	25	25	23	0	21	
	後 期 日 程	6	31	8	7	0	6	
計		50	100	77	52	0	49	

【栄養学科】

選 抜 区 分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	うち追加 合格者数	入学者数	
特別選抜	一 般 推 薦	県 内 者	6	19	19	6	0	6
		県 外 者	2	14	14	3	0	3
一般選抜	前 期 日 程	19	42	39	21	0	17	
	後 期 日 程	3	37	11	6	0	6	
計		30	112	83	36	0	32	

## ◆ 入学者の内訳

単位：名

区 分	入学者数	県内外者の内訳		男女の内訳		現役・浪人・社会人の内訳	
		県内者	県外者	男 性	女 性	現 役	浪人・社会人
看護学科	114	62	52	7	107	111	3
理学療法学科	34	17	17	15	19	32	2
社会福祉学科	49	38	11	9	40	49	0
栄養学科	32	18	14	0	32	32	0
計	229	135	94	31	198	224	5

## ◆ 都道府県別志願・合格状況等

単位：名

都道府県等	志願者数	合格者数	入学者数
北海道	107	34	30
東 北 地 方	青森県	439	141
	岩手県	76	18
	宮城県	33	5
	秋田県	65	12
	山形県	23	4
	福島県	10	3
	東京都	5	2
関 東 地 方	茨城県	6	1
	栃木県	1	1
	群馬県	4	1
	千葉県	4	0
	新潟県	12	4
中 部 地 方	富山県	3	2
	山梨県	1	0
	長野県	1	1
	静岡県	7	5
	岐阜県	1	0
	京都府	1	1
関 西 地 方	兵庫県	3	1
	広島県	1	0

都道府県等	志願者数	合格者数	入学者数
四 国 地 方	愛媛県	1	0
	徳島県	1	1
九 州 地 方	長崎県	1	1
	沖縄県	1	1
合 計	807	241	229

※1 高校等所在地別による。

※2 志願者のいない都道府県は除いている。





# 青森県立保健大学

Aomori University of Health and Welfare

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬58-1

Tel:017-765-2061(教務学生課) Fax:017-765-2188

E-mail:nyushi@auhw.ac.jp

URL:<https://www.auhw.ac.jp/>

再生紙を使用しています